

サミット前に廃棄物撤去

伊勢志摩の2カ所で県産廃協

来年五月の主要国首脳会議（伊勢志摩サミット）を前に、開催地の美化に努めようと、県産業廃棄物協会は二十一日、伊勢志摩地域の二カ所で、不法投棄廃棄物の撤去作業を行った。二十二日も実施する。

（倉持亮）



山林に放置された不法投棄廃棄物＝南伊勢町伊勢路で

この日は、南伊勢町伊勢路にある私有地の山林などで作業を実施。同町の現場では、協会加盟の廃棄物処理業者などの社員約二十人が、山の斜面や麓の小川に捨てられた金属やプラスチック製品などを拾った。

山林には、冷蔵庫やテレビ、洗濯機などの家電製品が何十台と投棄されており、作業者はショベルカーなどを使い、撤去作業を進



めた。当初はこの日から二日間の日程で作業を行う予定だったが、予想よりも投棄物の量が多く、二十日も作業を行ったという。協会は、二十日からの三日間で約百立方メートルのごみの回収を見込んでいる。

地権者の大下実さん（八巴）は「昔からごみを捨てる人が多く、困っていた。掃除してもらってありがたい」と喜んでいた。